

第2期川西市子ども・子育て計画（案）

修正対比表

No.	項目	パブリックコメント時 —————：今回削除となった部分	パブコメ・市議会意見を受けた修正案 —————：今回追加となった部分	修正理由
1	5 ページ 第 1 章 近年の動向	保護者の働き方の変化 共働き家庭 がさらに増加する中では、子育てと仕事の両立を実現し、安心して妊娠・出産・子育てできる環境整備がより一層求められます。	保護者の働き方の変化 <u>働く保護者</u> がさらに増加する中では、子育てと仕事の両立を実現し、安心して妊娠・出産・子育てできる環境整備がより一層求められます。	当該項目の趣旨は、共働き家庭に限られることではないため、修正しました。
2	7 ページ 第 1 章 アンケート調査の実施について	(「修正対比表別紙」番号 1 参照)	「調査概要」の内容を変更。 配布数の中学校区ごとの分布を示した表を挿入	アンケート配布数の地域的な分布を明示するため、表を挿入しました。
3	16-17 ページ 第 2 章 幼稚園・認可保育所・認定こども園の配置状況について	(「修正対比表別紙」番号 2 参照)	地図のデザインを変更。 中学校区ごとの配色をグレーからオレンジへと変更。また、各アイコンのカラーを変更し、枠線を太く修正。加えて、企業主導型保育事業所及び地域型保育事業所の位置を追記。	視認性を高め、明るい色合いとするため、カラー及びデザインを変更しました。また、施設の配置状況をより詳しく示すため、企業主導型保育事業所及び地域型保育事業所の位置等を明示しました。
4	20 ページ 第 2 章 子育てに関するアンケート調査の結果と分析	仕事と子育ての両立で大変と感 じて 複数回答 仕事と子育てを両立するうえで大変な こと	仕事と子育ての両立で大変と感 <u>じ</u> ること 複数回答	重複のため、削除しました。

No.	項目	パブリックコメント時 —————：今回削除となった部分	パブコメ・市議会意見を受けた修正案 —————：今回追加となった部分	修正理由
5	20 ページ 第 2 章 子育てに関するアンケート調査の結果と分析	仕事と子育ての両立で必要と感ずることについて 複数回答 仕事と子育てを両立するうえで必要なこと	仕事と子育ての両立で必要と感ずること 複数回答	重複のため、削除しました。
6	21 ページ 第 2 章 子育てに関するアンケート調査の結果と分析	日ごろ悩んでいること気になることについて 子育てについて日ごろ悩んでいること 複数回答	子育てについて日ごろ悩んでいること 複数回答	重複のため、削除しました。
7	21 ページ 第 2 章 子育てに関するアンケート調査の結果と分析	子育てに関する悩みや不安などの相談先について 子育てに関する悩みや不安などの相談先 複数回答	子育てに関する悩みや不安などの相談先 複数回答	重複のため、削除しました。

No.	項目	パブリックコメント時 —————：今回削除となった部分	パブコメ・市議会意見を受けた修正案 —————：今回追加となった部分	修正理由
8	22 ページ 第 2 章 子育てに関するアンケート調査の結果と分析	子育て支援について 川西市でもっと力を入れてほしいもの 複数回答	子育て支援について川西市でもっと力を入れてほしいもの 複数回答	重複のため、削除しました。
9	22 ページ 第 2 章 子育てに関するアンケート調査の結果と分析	子どもの遊び場について 望ましいと思うことについて 子どもの遊び場について 複数回答	子どもの遊び場について 望ましいと思うこと 複数回答	重複のため、削除しました。
10	23 ページ 第 2 章 子育てに関するアンケート調査の結果と分析	子どもとの外出の際に困ることについて 子どもとの外出の際に困ること、困ったこと 複数回答	子どもとの外出の際に困ること、困ったこと 複数回答	重複のため、削除しました。

No.	項目	パブリックコメント時 —————：今回削除となった部分	パブコメ・市議会意見を受けた修正案 —————：今回追加となった部分	修正理由
11	29 ページ 第 4 章 子どもたちの相談・支援体制の充実	いじめや不登校などの相談体制の充実 1．気軽に相談できるしくみや居場所の充実 2． 全中学校区へのスクールソーシャルワーカーの配置 3．適応教室への訪問相談員の配置	いじめや不登校などの相談体制の充実 1．気軽に相談できるしくみや居場所の充実 2． <u>スクールソーシャルワーカーを各中学校区に 1 名配置</u> 3．適応教室への訪問相談員の配置	方向性をより明確に示すため、文言を修正しました。
12	40 ページ 第 4 章 次世代を育むための体制づくり	1．トライやる・ウィークふれあい育児体験学習 幼児教育保育課 中学生については「トライやる・ウィーク」で、高校生については家庭科の授業の中の「ふれあい育児体験実習」で、保育所等において受け入れを行い、中・高校生と乳幼児とが直接ふれあう機会を提供する。 再、地域に学ぶトライやる・ウィーク事業 学校教育課 「トライやる・ウィーク」で、保育所等での活動を通して、中学生と乳幼児とが直接ふれあう活動を行う。	1．トライやる・ウィークふれあい育児体験学習 幼児教育保育課・ <u>学校教育課</u> 中学生については「トライやる・ウィーク」で、高校生については家庭科の授業の中の「ふれあい育児体験実習」で、保育所等において受け入れを行い、中・高校生と乳幼児とが直接ふれあう機会を提供する。	同一の事業が複数となっていたため、統合しました。
13	41 ページ 第 4 章 子どもの権利と安全を守る	4．適応教室の支援の充実 拡充 小学生の通室が増加傾向にある中、不登校児童生徒の社会的自立や学校復帰を支援するため、支援人数や開室時間など、支援内容を見直すことで充実を図る。	4．適応教室の支援の充実 拡充 小学生の通室が増加傾向にある中、不登校児童生徒の社会的自立を支援するため、支援人数や開室時間など、支援内容を見直すことで充実を図る。	国の通知に基づいた表現へと修正しました。

No.	項目	パブリックコメント時 —————：今回削除となった部分	パブコメ・市議会意見を受けた修正案 —————：今回追加となった部分	修正理由
14	42 ページ 第 4 章 子どもの権利と安全を守る	1. 乳幼児向け救急救命法講習会の開催 こども・若者ステーション 乳幼児向けの救急救命法と心肺蘇生法の実技講習会を開催し、子どもが事故に遭った場合や、けがをした場合の対処法を学ぶ機会を提供する。	1. 乳幼児向け救急救命法講習会の開催 こども・若者ステーション 乳幼児向けの救急救命法と心肺蘇生法の実技講習会を開催し、 <u>AEDなどを活用しつつ</u> 、子どもが事故に遭った場合や、けがをした場合の対処法を学ぶ機会を提供する。	事業内容の具体化のため、文言を追加しました。
15	42 ページ 第 4 章 子どもの権利と安全を守る	11. 学校への防犯システムの整備 教育総務課 防犯カメラや人的な緊急出動要請を含む夜間及び休日における機械警備システム整備のほか、県警ホットラインを設置し、関係機関と連携しながら、児童生徒のより安全な学校生活の推進を図る。	11. 学校への防犯システムの整備 教育総務課 防犯カメラや人的な緊急出動要請を含む夜間及び休日における機械警備システム整備のほか、県警ホットラインを設置し、関係機関と連携しながら、児童生徒のより安全な学校生活の推進を図る。	文言誤りのため、修正しました。
16	46-47 ページ 第 5 章 教育・保育の量の見込みと提供体制の確保方策	(表中) 教育利用 保育利用	(表中) <u>幼稚園機能利用</u> <u>保育所機能利用</u>	施設の機能の分類とするため、修正しました。
17	51 ページ 第 5 章 子育て短期支援事業	子育て 支援 短期事業	子育て <u>短期支援</u> 事業	文言誤りのため、修正しました。

No.	項目	パブリックコメント時 —————：今回削除となった部分	パブコメ・市議会意見を受けた修正案 —————：今回追加となった部分	修正理由
18	57 ページ 第 6 章 現在の状況	市立幼稚園の利用状況 いずれも定員に満たず、特に久代を除く 3 施設 において児童数は減少傾向が続いています（下 表の「定員」は利用定員）	市立幼稚園の利用状況 いずれも定員に満たず、特に久代を除く 3 施設 において児童数は減少傾向が続いています（下 表の「定員」は利用定員）	状況の全体的な傾向を示 すため、文言を削除しまし た。
19	57 ページ 第 6 章 現在の状況	（「修正対比表別紙」番号 3 参照）	「市立幼稚園の利用状況」の表中に各園の年 齢ごとの在園児童数の内訳を記載しました。	第 6 章で課題の一つとな っている市立幼稚園の状 況を示すため、在園児童数 の内訳を記載しました。
20	59 ページ 第 6 章 現在の状況	②待機児童解消への取り組み 待機児童解消をめざし、第 5 章「事業計画」 の保育に関する量の見込み及び提供体制の確保 方策に基づき、施策を推進します。 また、1 号認定児童数が減少する場合、既存施 設を有効に活用するため、 <u>趨勢</u> を見極めなが ら、認定こども園 1 号及び 2 号認定の受け入れ 数の見直し等も含めて、待機児童解消に向けた 取り組みを行います。	②待機児童解消への取り組み 待機児童解消をめざし、第 5 章「事業計画」 の保育に関する量の見込み及び提供体制の確保 方策に基づき、施策を推進します。 また、1 号認定児童数が減少する場合、既存施 設を有効に活用するため、 <u>動向</u> を見極めながら、 認定こども園 1 号及び 2 号認定の受け入れ数の 見直し等も含めて、待機児童解消に向けた取り 組みを行います。	「趨勢」は常用漢字ではな いため、「動向」へと変更し ます。